

ウッチーの  
校長室だより  
令和3年1月8日

# 春風接人



新年明けましておめでとうございます。クリスマスやお正月のあった約2週間の冬休み、大掃除や雪のけなどのお手伝いをしたり、家族とゆっくり過ごす時間を楽しんだりと充実した冬休みだったのではないかと思います。都市部では、年末年始もコロナウィルスの感染はおさまらずに、連日「〇〇最多」という報道が続いています。ウィルス変異種のことや子どもにも感染しやすい傾向があるなどの報告もありますので、気を緩めずに、引き続き感染対策を徹底しながら学習に取り組んでいきたいと思ひます。ご家庭でのご協力もよろしくお願ひいたします。

今年、ここ2年間にはなかった雪国らしい冬になり、1・2年生にとっては、初めての雪道の登下校になります。車道は除雪車や融雪装置のおかげで走行しやすくなっていますが、子ども達が



歩く所は、雪が積み上がっていたりして意外と大変【スコップを手に集団登校の付き添い、ありがとうございます。】です。12月の降雪の際も、登校時刻が普段より遅くなる班がいくつもありました。滑りやすくなっている上に、雪遊びをしたいという誘惑もあるようで、雪を手にしている児童も見かけました。雪を投げたり避けたりして、遊びながらの登下校は大変危険です。学校でも指導しますが、ご家庭でもお話ししたり、登校の様子を玄関先から声掛けなどをしたりして見守っていただけると幸いです。雪が降って不便になる分、相手の立場を思いやり譲り合ったりすることが大切になりますが、そのようなことも身に付けてほしいと思ひます。

今日の始業式では、東京箱根駅伝の話をしました。東京箱根間109.6kmかけて10人の選手でたすきをつないで往復する正月恒例のスポーツです。最終10区の選手にたすきが渡ったときには、1位と2位の差が3分19秒、距離にして約1100mの差がありました。解説者は優勝ほぼ間違いなしとのコメントをしていましたが、2位の選手が少しずつ追いつき、残り2kmの所で逆転、最後は300m程の差をつけて優勝しました。多くの人が優勝は無理だと思っていたのですが、2位の選手はあきらめることなく一歩ずつ距離を詰めていったのです。仮にストライドを180cmだとすると、一歩で約9cmずつ距離を縮めていったこととなります。このような話をして、子ども達には、学年のまとめの3学期、あきらめることなく少しずつでもいいので努力を続けてほしいと話しました。各学年のおたよりに、「学年のまとめ」「次の学年への準備の学期」などの言葉が書かれていますが、一人一人が努力を重ね、「〇〇ができるようになったよ。」「◇◇を頑張ったよ。」という達成感を持って学年のゴールテープを切ってほしいと願っています。

6年生は46日間、他の学年は51日間の短い3学期です。インフルエンザなどの感染症での学校閉鎖がないように気をつけ、2月の自由参観や3月の卒業式なども予定通り実施したいと考えています。例年以上に生活習慣や健康管理に気をつけながらの毎日を送れるよう、ご協力をお願いいたします。



【さっそく、本の借り初め】



【吹雪に負けなたくましさかな】